

この度自衛隊千葉地方協力本部は即応予備自衛官を雇用する企業の皆様に、御社の社員様が即応予備自衛官としても活躍している姿を知っていただくため「千葉地本即応予備自衛官だより」を発行し、活動の様子をご紹介することに致しました。

国家防衛のため、また地域社会のために貢献する御社の即応予備自衛官が招集訓練に心置きなく参加出来るよう引き続き、留守間の業務調整等のご協力をよろしくお願い申し上げます。



(部隊長から雇用企業の皆様へ)

今年度も、即応予備自衛官を雇用して頂いている各企業のご協力により、我が第4中隊は、練度評価を受ける連隊検閲を7月に第一線陣地の攻撃に任ずる主攻撃中隊として受閲し、連隊の任務達成に貢献する等、多大な成果を収めることができました。今後とも、防衛出動、災害派遣等に備えて訓練に精励する即応予備自衛官への応援、ご協力をお願い致します。



第31普通科連隊
第4中隊長
村田 義文
3等陸佐

予備自衛官制度…
国家の緊急事態に常備自衛官を補完するため、教育訓練を受けた民間人を自衛官として招集する制度。
昭和29年に創設、平成23年の東日本大震災で初めて招集された。

今回は、26年10月26日～29日に実施された即応予備自衛官市街地戦闘訓練(習志野演習場)の様子をご紹介します！



千葉地本管理の隊員が多く所属する第31普通科連隊第4中隊は、千葉県にある「習志野演習場」及び静岡県御殿場市にある「東富士演習場」の2箇所で訓練を実施しました



**重迫撃砲の実弾射撃
(東富士演習場)**



営内で休憩のひととき



**第31普通科連隊第4中隊所属の隊員
現在、千葉地本管理の隊員95名が在籍してます**

**10月26日から27日の間、即応予備自衛官
雇用企業様を東富士演習場等で実施された
訓練見学会にご招待しました**

※下の写真は訓練見学の一環である戦車体験搭乗
右の写真は重迫撃砲の実弾射撃見学

**ご参加頂いた即自雇用企業
大葉開発(株)様、(有)ブイリンク様**



ご参加企業様の声

- ・職務とは違う社員の姿に触れ、とても頼もしく感じた。
- ・少子化が進む中、必要な制度と感じた。訓練出頭には出来るだけ協力していきたい。